

幸 橋

〈平戸小学校だより10号〉

～思いやりのある子供～
～自ら考え工夫する子供～
～たくましい体と実践力のある子供～

令和4年9月26日
平戸市立平戸小学校
文責 校長 山村昭文



新型コロナの感染状況

2学期が始まってから、新型コロナの感染がなかなか収まらない状況にあります。16日(金)には2年2組を学級閉鎖とするなど拡大防止に努めているところです。現在の新型コロナに関する取扱いは、以下のように変わっています。

- ・感染した場合は7日間の療養(出席停止)
- ・濃厚接触者となった場合は5日間の自宅待機(出席停止)

など、コロナとの共生が言われる中、措置は緩和されてきています。また、報道等でもいろいろな考えが示されていますが、学校としては、子供や保護者の皆さんの安心と安全を最優先に対応を図っています。今、学校で取り組んでいることは、室内ではマスクを着け、室外では外す。手洗い、消毒、換気などのできる対策の徹底を図っています。御家庭でも感染予防対策をよろしくお願いします。

職員紹介

14日(水)から、「のびっこ」教室担当の荒木真実教諭が産休に入りました。その代替えとして、松永俊亮講師に来ていただくことになりました。先月に続いで産休者で、安産を祈願しているところです。保護者の皆様には、代替えの講師がお世話になることと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



5年生福祉の学習

14日(水)に市の社会福祉協議会から職員の方においでいただき、5年生が総合的な学習で福祉の学習を行いました。福祉協議会での様々な活動に関するお話を聞き関心が高まったようです。今度、実際に社会福祉協議会で体験等をさせていただきます。



市教委訪問・校内研修

15日(木)は市教育委員会による学校訪問があり、教育長をはじめ学校教育課の5名の先生方に子供たちの学習の様子を参観していただきました。訪問は午後からでしたが、午前中には今年度の本校の研究課題であるタブレット端末を活用した授業の研究会を4年1組で行い、全職員で、研修を行いました。



ICT機器の活用は、これからの学校や社会では必須のものとなっていくでしょう。モラルを守って、有効に活用する力を育てていきたいと思えます。



学力調査結果

8月末に全国学力調査の結果が公表されました。本校はここ数年、全国平均とほぼ同レベルにあります。この学力調査を一つの学力の指標としてとらえ、向上を目指して取り組んでいるところです。個々の結果に関しては、後日、保護者の皆様にはお知らせします。

今年度の本校の学力向上プランの具体的な取組として、以下のような取組をしています。

- ・市・県・全国学力調査の結果分析と補充
- ・学習内容の定着を図るスキルタイムの活用と家庭学習の定着
- ・言語活動の充実を図る書く活動、読む活動の推進

各教科等の授業での取組はもちろん、朝の読書活動や「かめおかタイム」での国語、算数、作文などの基礎・活用問題への取組を行っています。学校での学習をより深めるための家庭学習の定着も課題であり、低学年でも週に1回程度のタブレットの持ち帰りによる家庭学習も始めました。御家庭でも家庭学習(宿題)への取り組みを励ましていただければと思います。